

生徒の皆さん、元気で日々を送っていましたか？
修業式や離任式ができない中ですので、皆さんへの
メッセージを作文にしました。

約一ヶ月間、登校することなく過ごし、きつと大
きな不安を感じていたのだろうと想像します。九
年前の震災の時も違うー何か安心できない、何
がどうなっているのかはつきりつかめない不安定な感
覚の中、私たちは否応なく世界とつながっているの
だということ、ぼんやりとはあっても実感し、
自らアクションを起こせない自分の非力さに苛立っ
たりもしたのだと思います。

頼りになるのは想像力。ヨーロッパで起こっている
感染拡大の現実が、あす、日本で、仙台で起こって
も不思議ではないということ。何事に対しても他人
事と思わない力が想像力であって、ジョン・レノンの
「イマジジン」を歌う世界の芸能人のリレー動画が、多
くの人を励ましているのだと思います。震災の時の
「I love you I need you、いっしょ」を思い出しました。

* * *

このひと月、最も私を勇気づけたのは、愛知県の
小学生の寄せ書きのニュースでした。ダイヤモンド・
プリンセス号での新型コロナウイルス感染者を受け
入れている岡崎市の病院に隣接した小学校。その
児童が病院のスタッフや患者さんに宛てて「激励メ
ッセージ」を届けたニュースです。他の学校の児童ら
から「コロナ小学校」とからかわれても、それを恨み
言の連鎖にせず、日夜、力を尽くして立ち向かって
いる多くの方々への深い敬意と感謝に替える。不安
と戦っている患者の方々へ思いを寄せ
る。このニュースに、多くの人々がーそれ
は仕事や収入の著しい打撃に困っている
大人も含め、励まされました。きっと
未来は大丈夫だと感じました。
最も尊い心、人を思う心。この世に
は関係のないことなどひとつもない。ひと
りひとりが世界を思い、手を携えるこ
とだけが、窮地を救う唯一の方法なの
だ。ピンチを救うのはどこかの誰かでは

なく、まぎれもない私たちひとりひ
とりののだ、と。

* * *

毎日のニュースを見て、日々の苛
立ちが、攻撃的な言葉や態度になっ
て誰かに向けられているのを目の当
たりにします。それが、世界や日本
の代表する政治家の言葉であること
も少なからずあります。それを真
似てなのか、同じように市民が、子どもたちが不
安の矛先を変ええる。SNSなどに見られる負の連鎖
が、この窮地をますます厳しい対立の構図に書き
換えようとしているようにさえ感じます。

世界で起こっている出来事は、海を向こうのこと
ではなく、あすにもここで起こりうること。私たち
は最大限の防御を行うけれども、終息までの長い
間、私たちや私たちの家族を取り巻く経済活動
や人と物の一定の行き来はなくせず、リスクはゼロ
にはならない。

* * *

どんなことがあっても生徒の命や健康を守ること
が学校の使命で、その健康には心の健康も含まれ
ます。これから終息までの長い期間、私たちは人を
思い、つながり、励ますことを怠ってはならない。昨
年四月の始業式で紹介した「駄目なことの一切を
時代のせいにはするな、わずかに光る尊厳の放
棄」、「自分の感受性くらい、自分で守ればかもの
よ」(茨木のり子)の言葉を噛みしめる三月でした。
仙高生諸君。この一年、思い切り泣いたり笑ったり
した日々は君たちをより美しく育てたに違いあり
ません。どうぞ、自信を持って進んでください。
日々、迷い続けている大人たちにとっての希望。そ
れは、青年たちが美しい未来を夢見ていること。諸
君の姿に日々励まされているのだと改めて感謝し
ています。ありがとうございます。

* * *

最後になりましたが、離任される十二人の職員
の皆さまへ、生徒と共に御礼を申し上げます。出
会いこそ最大の財産です。どうぞ仙台高校をこれ
からも応援ください。ありがとうございます。

